

平成18年7月1日～3日連携排砂について

今回の連携排砂は、以下の特徴を有する連携排砂となりました。

なお、連携排砂のきっかけとなった洪水のピーク流量（宇奈月ダム流入量531 m³/s）は、宇奈月ダムが連携排砂を実施した6度の出洪水の中で、3番目の洪水でした。【資料－1】

1. 愛本合口堰堤からの取水停止時間は過去2番目の短さ

これまでは、平成17年度の第2回連携通砂時の31時間00分が最短でした。

今回の連携排砂では、36時間05分でした。【資料－2】

この取水停止時間は過去の連携排砂および通砂の中で2番目の短さとなります。

今回は、宇奈月ダム自然流下終了後に農業関係団体の代表者に濁りの状況を確認頂き、愛本地点の流量及び濁りが安定したとして2日午後7時35分に取水が再開されています。

2. 排砂後の措置の試行を排砂時に初めて実施

昨年度排砂時に実施できなかった排砂後の措置の試行を初めて実施することができました。

※排砂後の措置の試行とは

排砂・通砂末期に宇奈月ダムの容量を活用し、濁りの少ない水で小規模出水(流量300 m³/s程度を3時間継続)を宇奈月ダム下流の河川に再現することにより、下流河道のより一層の局部土砂堆積の防止を図るもの。

なお、今回実施した排砂後の措置（試行）の効果については、現地にて堆積土砂範囲の変化状況を調査しており、その結果については取りまとめ後、黒部川ダム排砂評価委員会にて評価して頂く予定にしております。

3. 連携排砂実施時に魚の退避場（やすらぎ水路）の効果を調査

今年度は、連携排砂実施期間中に魚の退避場の効果を4カ所で現地にて調査を実施しました。（資料－3）

調査方法は、魚の退避場（やすらぎ水路）との本川合流点にて、投網およ

びタモ網にて退避してきた個体数および魚種について調査しました。
調査結果から、速報値ですが、主な退避魚種としては、アユとウグイでした。

特にアユについては、飛騨と五郎八で宇奈月の自然流下時に多くの個体が退避していることを確認しました。

しかし、出島と浦山については、効果は確認できませんでした。

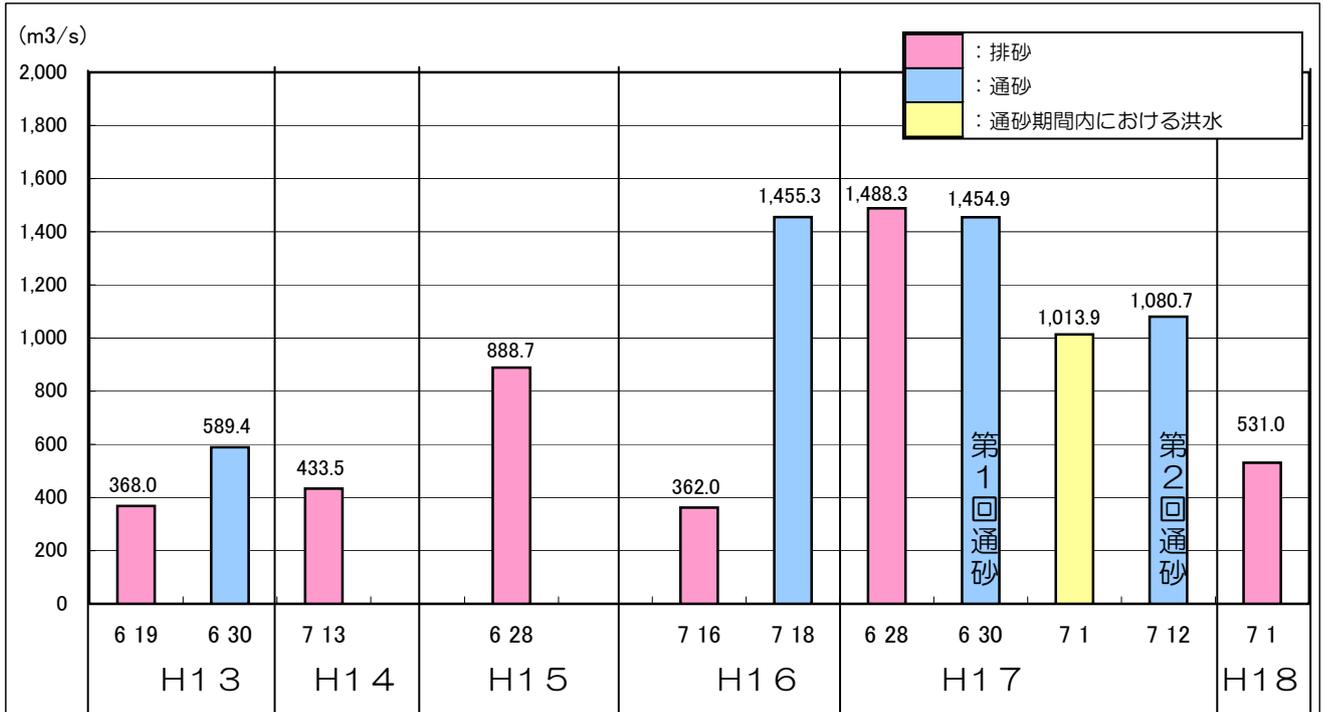
また、ウグイについては、出島と浦山で宇奈月ダムの水位低下時に多くの個体が退避していることを確認しました。

なお、この要因については、今後調査分析したいと考えています。

【資料－４】

宇奈月ダム運用開始以降における 連携排砂・通砂実施時の宇奈月ダム最大流入量比較

今回の連携排砂は、実施規模としては、排砂・通砂の実施洪水の中で、全体で8番目、連携排砂を実施した6度の出洪水の中で、3番目の大きさとなっている。

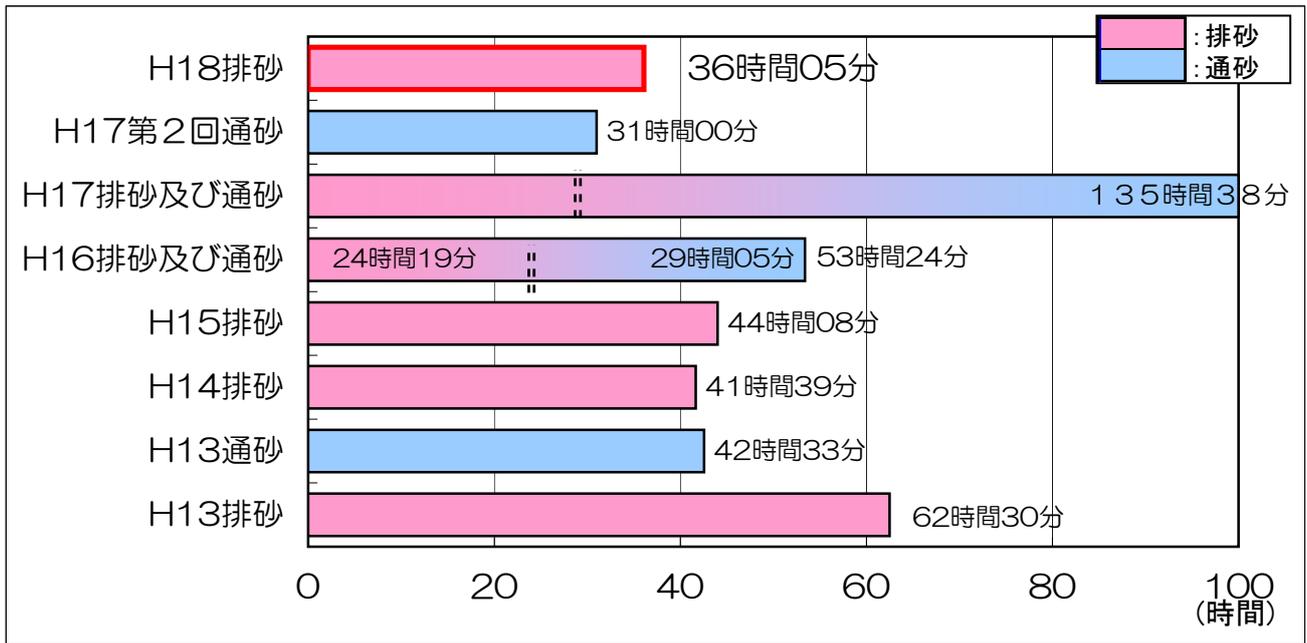


年度	日 時	宇奈月ダム流入量 (m ³ /s)	順位	区分
H13	6月19日 17:06	368.0	10	排砂
	6月30日 17:37	589.4	7	通砂
H14	7月13日 21:10	433.5	9	排砂
H15	6月28日 10:25	888.7	6	排砂
H16	7月16日 22:18	362.0	11	排砂
	7月18日 3:12	1,455.3	2	通砂
H17	6月28日 17:32	1,488.3	1	排砂
	6月30日 5:40	1,454.9	3	通砂
	7月1日 19:37	1,013.9	5	通砂期間内*
	7月12日 7:28	1,080.7	4	通砂
H18	7月1日 6:23	531.0	8	排砂

※通砂期間内とは、連携通砂実施決定から通砂後の措置終了までの期間をいう。

連携排砂における愛本合口堰堤取水停止時間

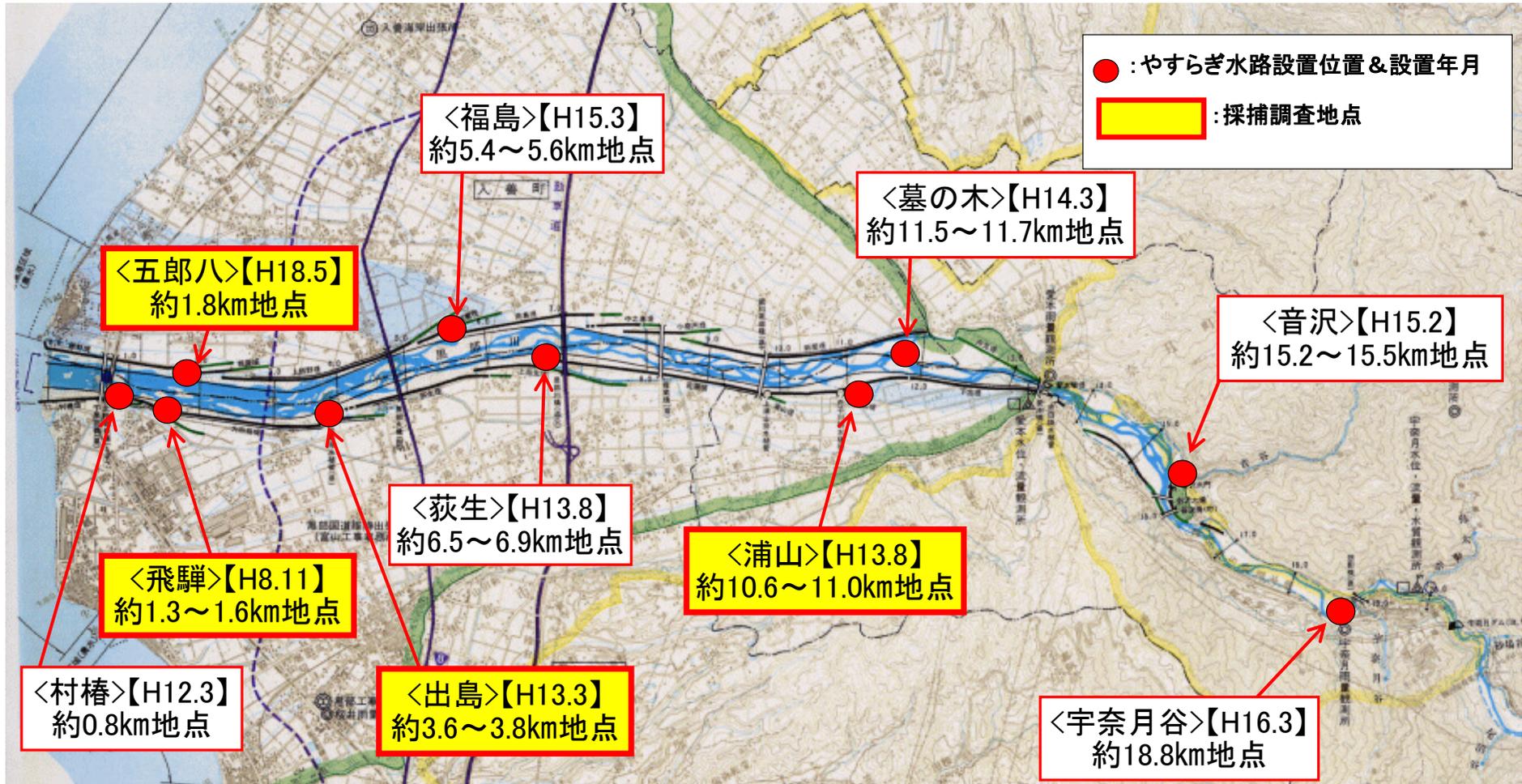
平成13年度からの連携排砂・通砂の開始以来、
取水停止時間が過去、2番目の短さ36時間05分で終了



	取水停止時間	備考
H13排砂	62時間30分	
H13通砂	42時間33分	
H14排砂	41時間39分	
H15排砂	44時間08分	
H16排砂及び通砂	53時間24分	
H17排砂及び通砂	135時間38分	一時取水再開有
H17第2回通砂	31時間00分	
H18排砂	36時間05分	

やすらぎ水路内魚類調査:位置図

資料-3



魚の退避場(やすらぎ水路)調査結果一覧表(速報値)

(尾数)

魚の退避場 地点名	調査開始時刻	黒部川の状況	魚 種 名								
			ヤマメ	アユ	ウグイ	オオヨシノボリ	シマヨシノボリ	シマウキゴリ	トミヨ	カジカ	小計
浦 山	2006/7/1 13:20	水位低下中			140	13					153
	2006/7/2 6:40	自然流下中		4	23	1					28
出 島	2006/7/1 14:00	水位低下中		18	29						47
	2006/7/2 7:00	自然流下中		6	2						8
飛 驒	2006/7/1 16:20	水位低下中		21	2						23
	2006/7/2 8:30	自然流下中		100	9		1	3			113
五郎八 (H18新設)	2006/7/1 15:00	水位低下中		18	9						27
	2006/7/2 8:45	自然流下中		128	11						139

*調査方法は、投網5投、10分間のたも網による採捕
 *投網の使用目合は、12mm、たも網は4mm
 *主な調査範囲は、各水路の本川合流部付近